

令和4年度 矢田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	理科	国語	数学	理科
3 年	学校	52	55	34	35	10.2	21.8	8.4
	大阪市	—	66	50	46	5.5	12.2	4.4
4月19日	全国	—	69.0	51.4	49.3	4.3	10.8	3.4

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	48	43.6	42.0	37.7	43.8	35.8	16.9	7.5	17.6	8.7	12.1
	大阪市	—	53.4	54.7	54.9	56.8	53.7	11.9	4.3	9.4	5.2	6.8
9月6日	大阪府	—	53.8	55.4	56.0	56.7	54.2	12.1	4.6	9.6	6.0	7.1

※ 3年生の理科はB問題を選択

令和4年度 矢田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

<国語>

全国と比較して、「書くこと」領域において、対大阪市比73%、全国比66%であった。
文章を作成する能力が著しく低く、非常に厳しい結果である。

<数学>

全国と比較して、「関数」領域において、対大阪市比64%、全国比63%であった。
資料を表や式、グラフなどに表す表現や技能が著しく低く、基礎的な知識を身につける必要がある。

<理科>

全国と比較して、「エネルギー」を柱とする領域において、対大阪市比75%、全国比69%であった。

<生徒質問紙より>

「自分には良いところがあると思いますか」の質問において、肯定的回答をした割合が全国79.5%
に対して、本校では、75%にとどまった。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

<成果>

大阪府平均との比較では、5教科トータルで73%であった。
特に、数学では67%、英語では66%と大きな差を生む結果となった。

<課題>

数学では、25点に満たない生徒が全体の36%、
英語では、25点に満たない生徒が全体の35%であることが分かった。
基礎・基本事項が定着できていない状況で3年生の内容を一斉指導で進めることが
厳しいと考えられる。

【今後に向けて】

○全国学力・学習状況調査結果

<国語>

基本的な読み書きの反復練習や音読など、文章に触れる機会を増やすことが重要である。

<数学>

基礎的な計算技能の習得のため、反復練習が必要である。躓いた段階からの習得が急務である。

<理科>

基本的な内容をしっかりと理解し、定着するような学習方法を身につける必要がある。

<生徒質問紙より>

生徒の自尊感情を高めるため、一人ひとりに寄り添った生徒理解体制づくりと生徒が主体的に協力
しながら普段の学習や学校行事に参加する体制づくりの両面での支援が必要であると考えている。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

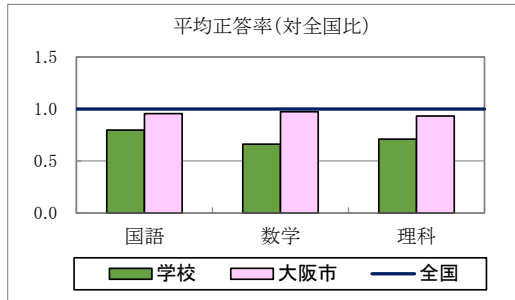
現在、数学と英語の授業において、3年生開始時から3展開の習熟度別授業を実施している。
9月のチャレンジテスト時点では、成果につながらなかったが、きめ細かい指導に今後も
力を入れていきたい。

令和4年度 矢田中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

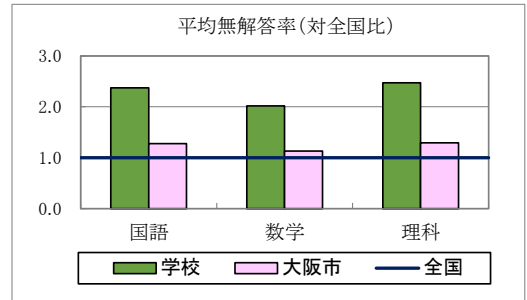
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	55	34	35
大阪市	66	50	46
全国	69.0	51.4	49.3

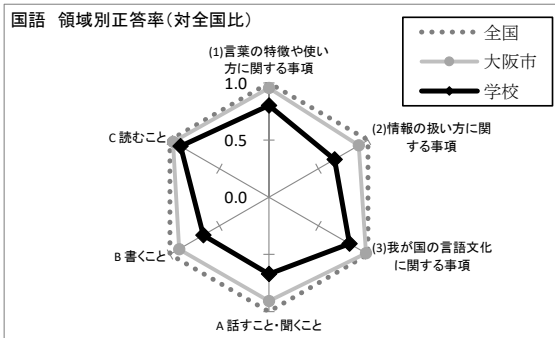
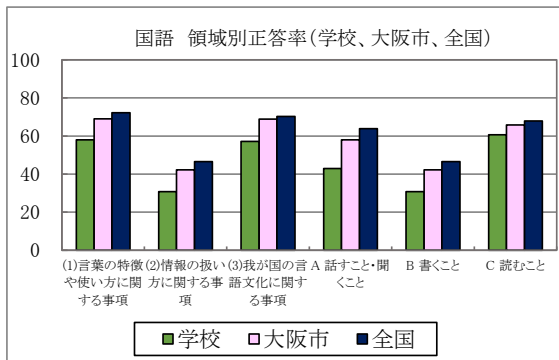


	平均無解答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	10.2	21.8	8.4
大阪市	5.5	12.2	4.4
全国	4.3	10.8	3.4



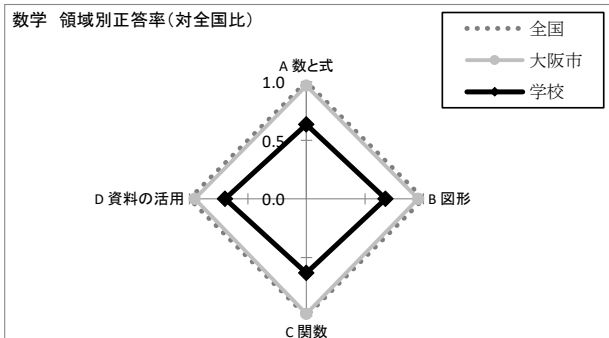
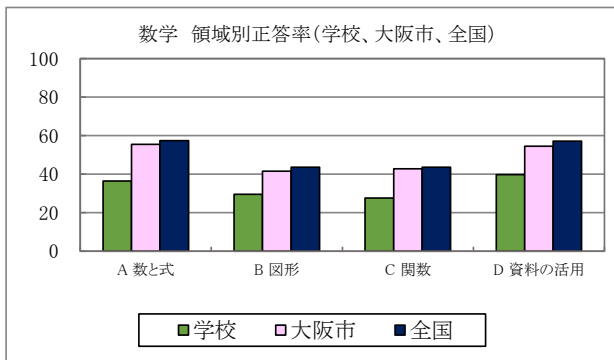
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	6	58.0	69.0	72.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	30.8	42.2	46.5
(3)我が国の言語文化 に関する事項	3	57.1	68.8	70.2
A 話すこと・聞くこと	3	42.9	58.0	63.9
B 書くこと	1	30.8	42.2	46.5
C 読むこと	2	60.6	65.8	67.9



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	36.5	55.5	57.4
B 図形	3	29.5	41.6	43.6
C 関数	3	27.6	42.8	43.6
D データの活用	3	39.7	54.5	57.1



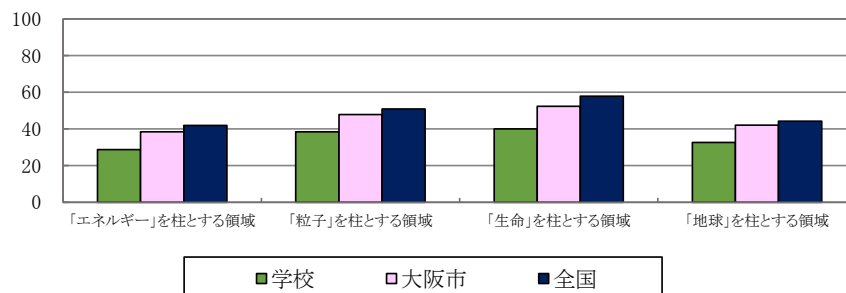
令和4年度 矢田中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

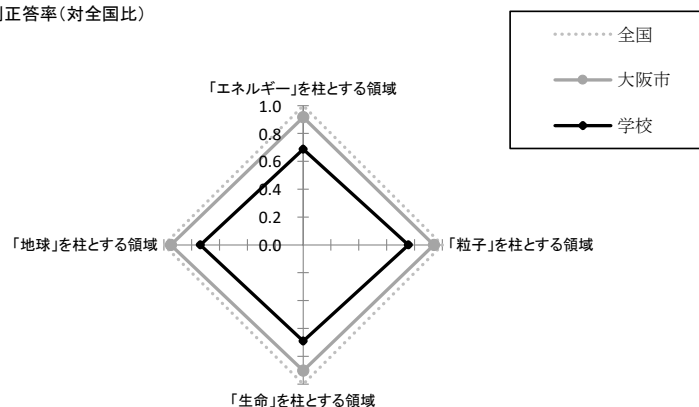
【理 科】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
「エネルギー」を 柱とする領域	6	28.8	38.4	41.9
「粒子」を柱とする 領域	5	38.5	47.8	50.9
「生命」を柱とする 領域	5	40.0	52.3	57.9
「地球」を柱とする 領域	6	32.7	42.1	44.3

理科 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



理科 領域別正答率(対全国比)



令和4年度 矢田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問紙より

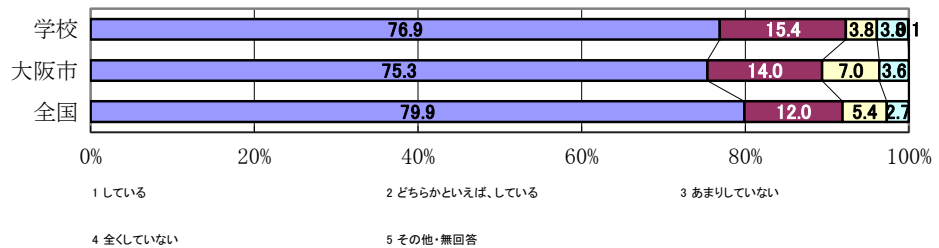
1 2 3 4 5 6 7 8

157

質問番号
質問事項

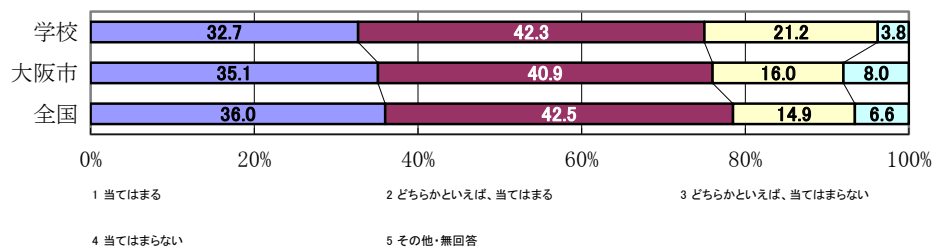
1

朝食を毎日食べていますか



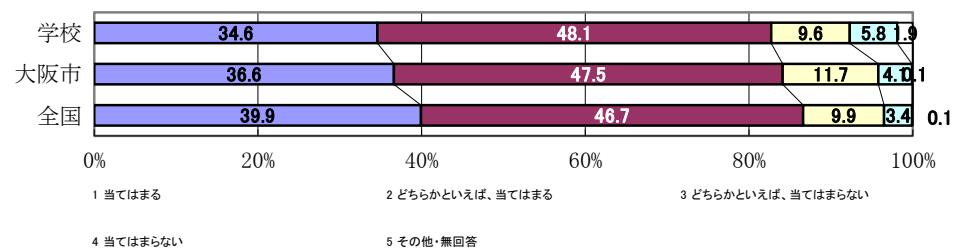
7

自分には、よいところがあると思いますか



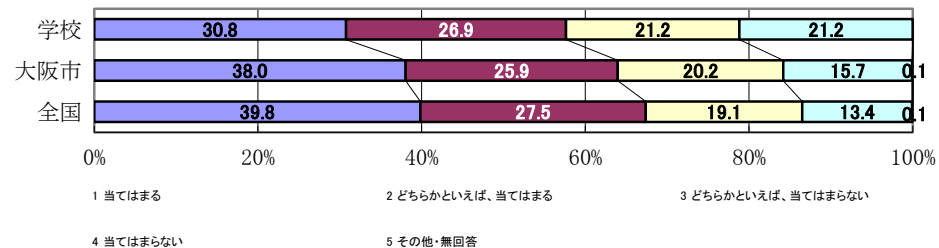
8

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



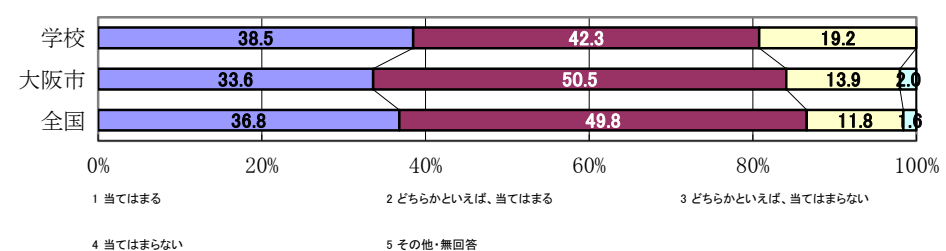
9

将来の夢や目標を持っていますか



10

自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか

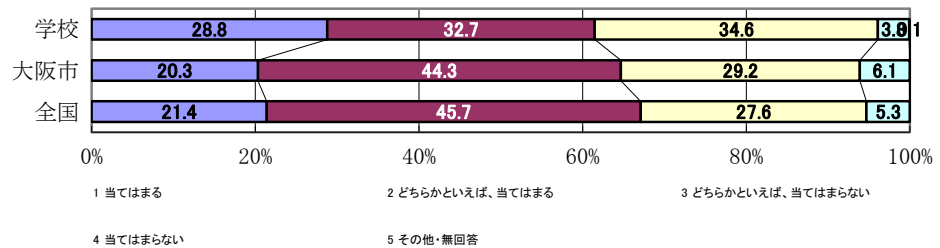


令和4年度 矢田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

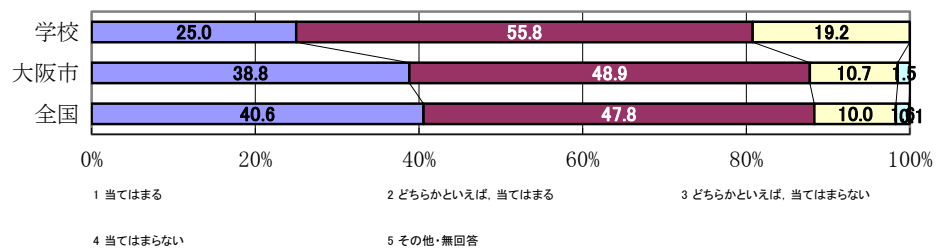
生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

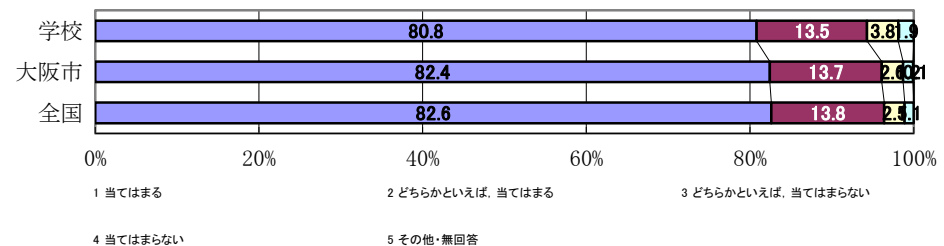
質問番号
質問事項
11
難しいことでも、失敗を恐れな いで挑戦していますか



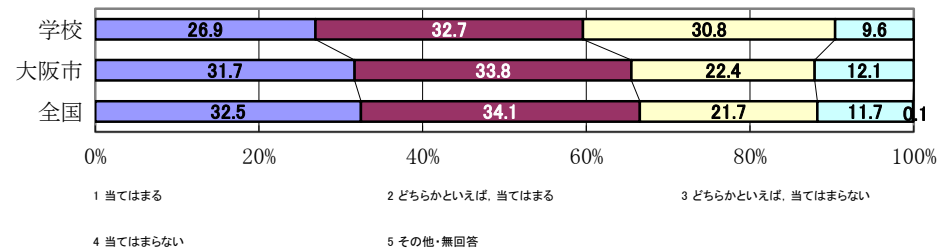
12
人が困っているときは、進んで 助けていますか



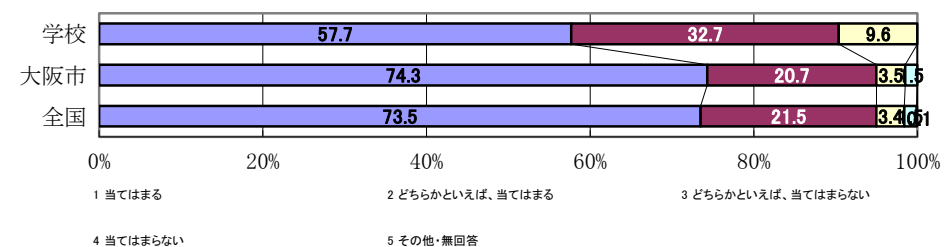
13
いじめは、どんな理由があつて もいけないことだと思いますか



14
困りごとや不安がある時に、先 生や学校にいる大人にいつで も相談できますか



15
人の役に立つ人間になりたい と思いますか



令和4年度 矢田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

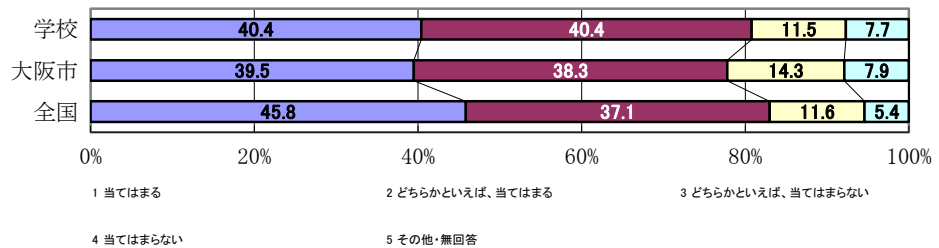
生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

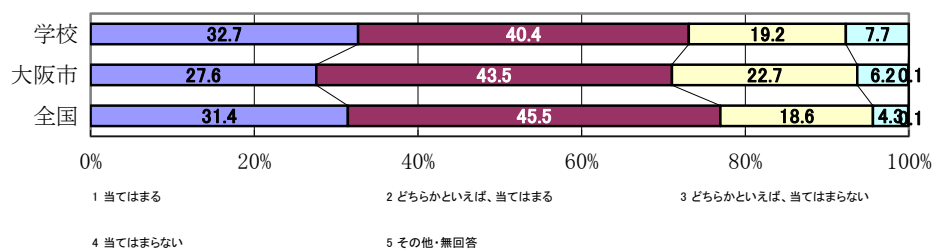
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



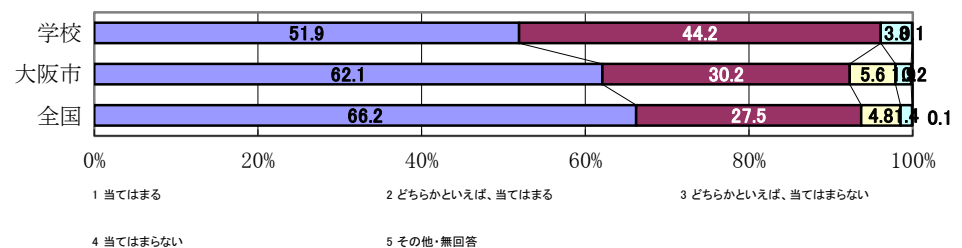
17

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



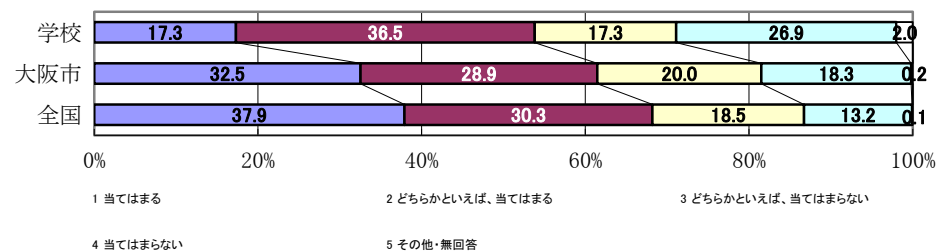
18

友達と協力するのは楽しいと思いますか



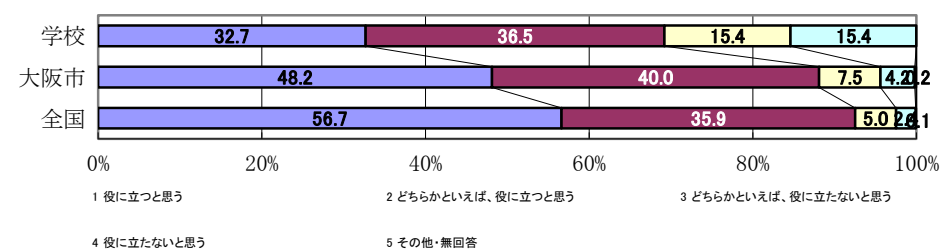
26

読書は好きですか



36

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



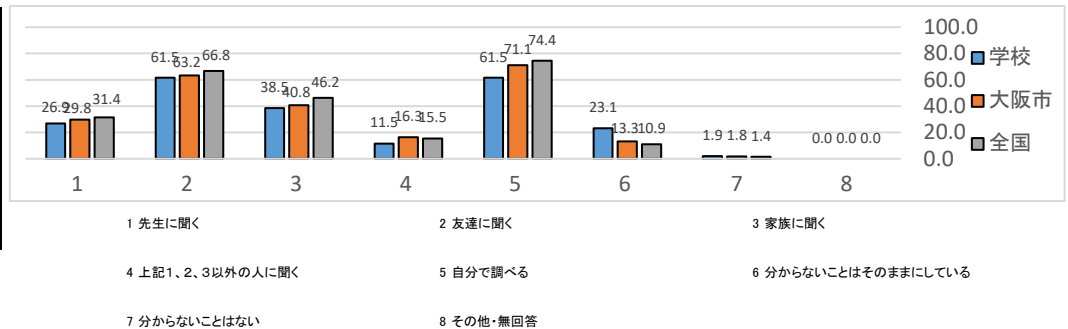
令和4年度 矢田中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問紙より

質問番号
質問事項

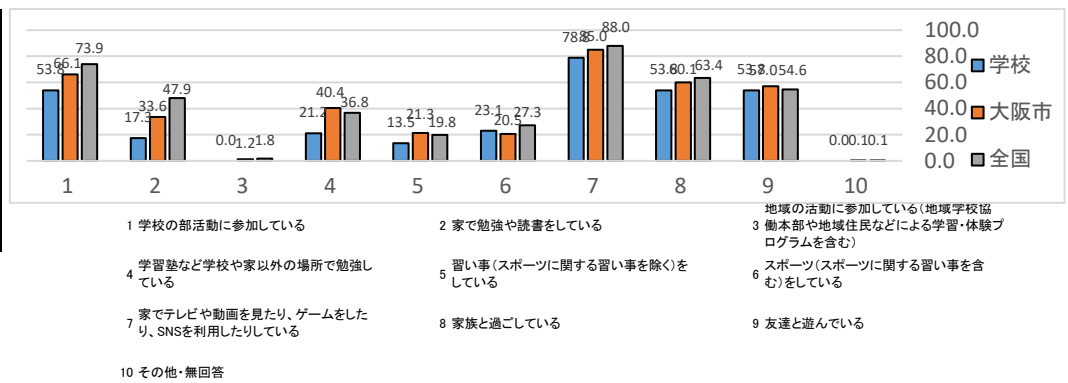
19

家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか(複数選択)



31

放課後や週末に何をして過ごしていることが多いですか(複数選択)



令和4年度 矢田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

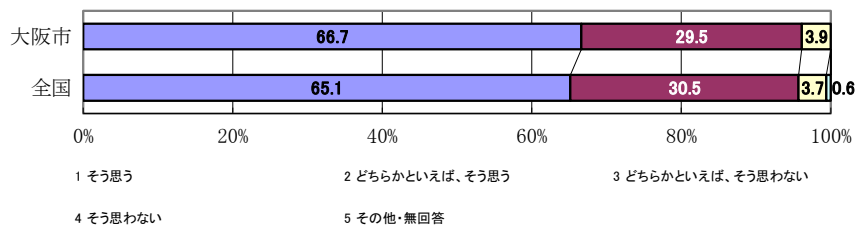
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

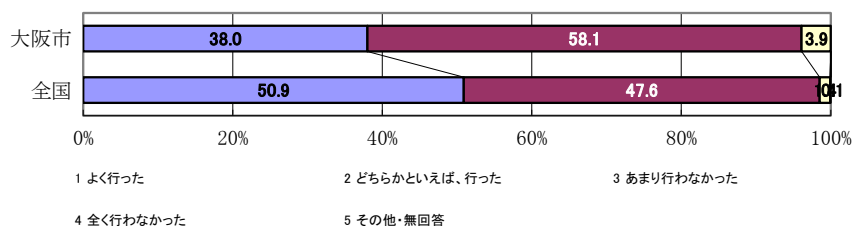
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



8

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

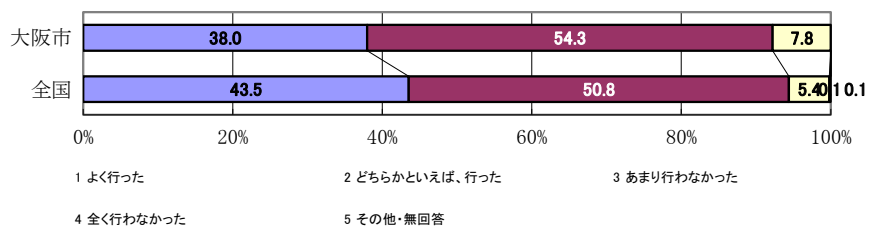
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



9

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

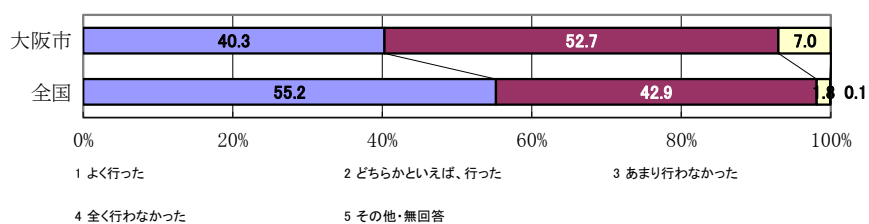
学校 「あまり行わなかった」を選択



10

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか

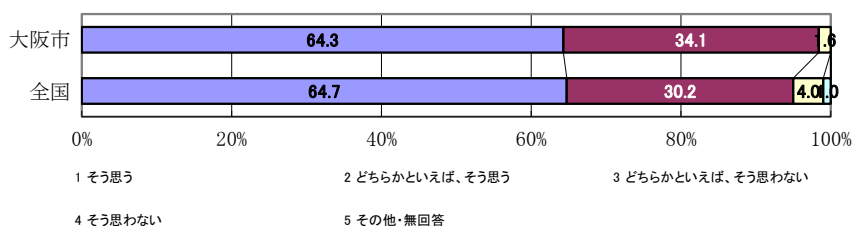
学校 「あまり行わなかった」を選択



11

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

学校 「そう思う」を選択



令和4年度 矢田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

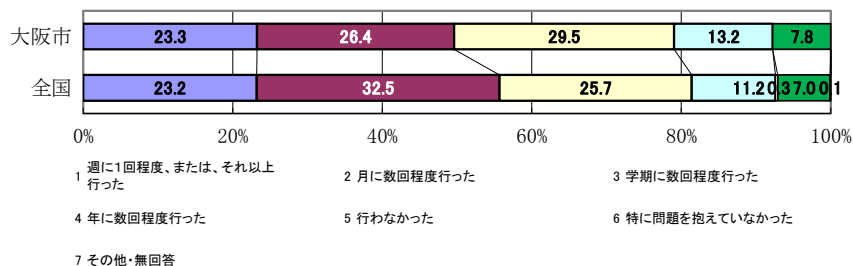
質問番号

質問事項

12

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

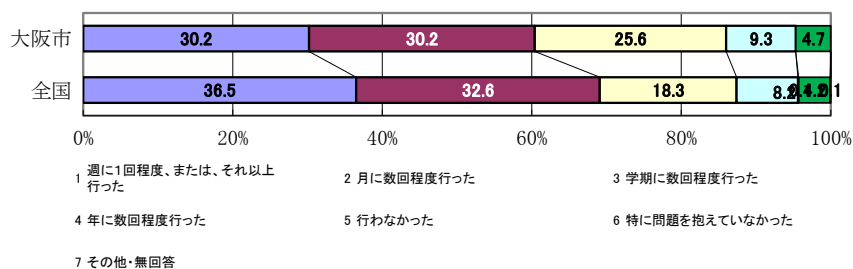
学校 「月に数回程度行った」を選択



13

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

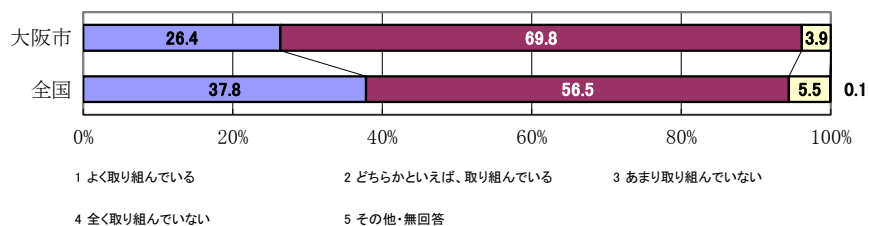
学校 「月に数回程度行った」を選択



14

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)に取り組んでいますか

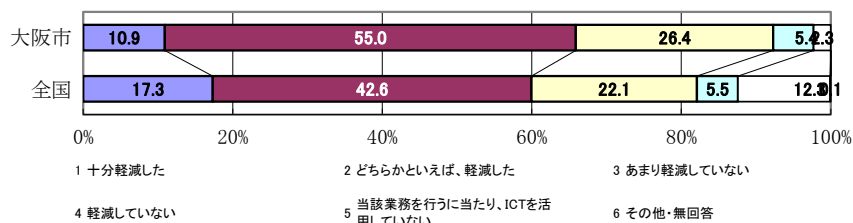
学校 「よく取り組んでいる」を選択



15_1

ICTを活用した校務の効率化を通じて、生徒の出欠・遅刻に関する事務は軽減しましたか

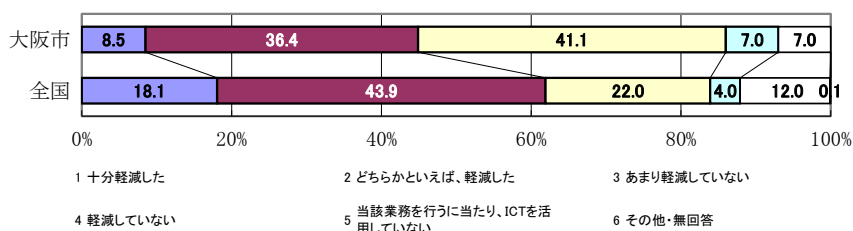
学校 「どちらかといえば、軽減した」を選択



15_2

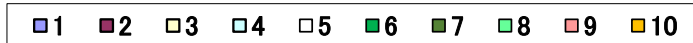
ICTを活用した校務の効率化を通じて、家庭への調査等に関する事務(個人面談等の日程調整や学校評価アンケートなど)は軽減しましたか

学校 「十分軽減した」を選択



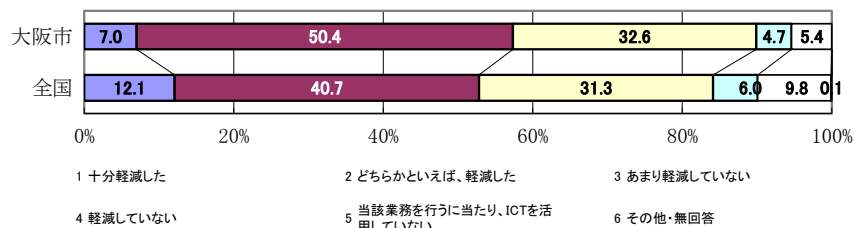
令和4年度 矢田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より



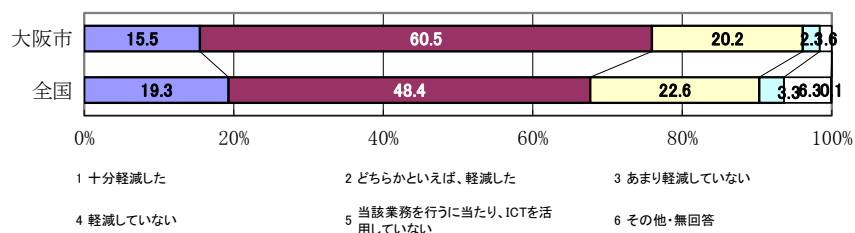
質問番号
質問事項
15_3
ICTを活用した校務の効率化を通じて、学校からのお知らせ(学校通信等)は軽減しましたか

学校 「どちらかといえば、軽減した」を選択



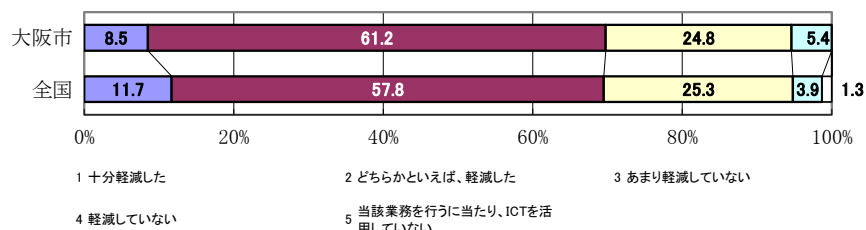
質問番号
質問事項
15_4
ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員等会議に関する事務は軽減しましたか

学校 「十分軽減した」を選択



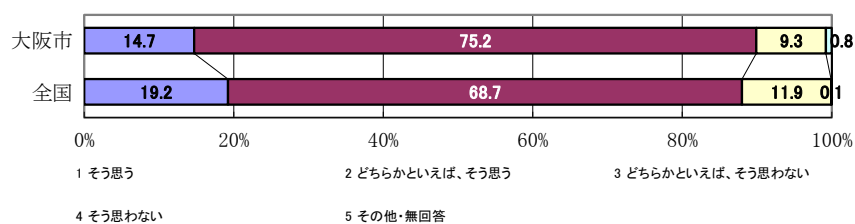
質問番号
質問事項
15_5
ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員の書類作成等その他の事務は軽減しましたか

学校 「どちらかといえば、軽減した」を選択



質問番号
質問事項
23
調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



質問番号
質問事項
24
調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択

